

千葉福祉園だより

第80号



東京都社会福祉事業団

社会福祉法人
東京都社会福祉事業団
東京都千葉福祉園
☎0430-62-2711(代表)
URL: <http://www.chibafuku.or.jp/>

園長就任のご挨拶

園長 松尾 正純



令和3年4月1日付で、千葉福祉園長に就任いたしました松尾です。本年3月までは、東京都教育委員会に勤務しており、20年ほど教育行政に携わっていましたが、その前は、医療・福祉分野の仕事をしていました。東京都に就職した時の、最初の職場は養育院でした。当時の養育院は千葉福祉ホーム（現 千葉福祉園）を所管しており、千葉福祉ホームに来る機会がたびたびありました。当時の千葉福祉ホームでは、養鶏などが行われていたことを思い出します。

新型コロナウイルスがまん延する中、様々な困難がございますが、利用者の方々が気持ちよく過ごしていただくように、職員の方々と力を合わせていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

健康管理室医長からのご挨拶

新型コロナウイルス感染予防のため歯科外来では定期検診を止めています。

急患（痛み、腫れなど症状がある場合）は感染対策を万全にして診療を行っております。

新型コロナウイルス感染に歯周病が悪影響することが最近の研究で明らかになっております。

新型コロナウイルス感染予防のためにも利用者さまの口腔ケアに力を注いでまいります。

定期検診再開までもうしばらくお待ちください。

健康管理室医長
石山 直欣

副園長からのご挨拶

4月1日付の人事異動で副園長（支援第一部門）に着任いたしました坂本です。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、福祉保健局では、ひとり親家庭支援や子供家庭支援センターへの支援など、主に子供家庭分野を中心とした福祉分野に携わってまいりました。今までの経験等も活かしつつ、少しでも皆様のお役にたてればと思っております。

今般の新型コロナウイルス感染予防はもちろんのこと、利用者の皆様が安全に、そして、安心して心穏やかに豊かな生活を送ることができるよう、微力ではございますが、精一杯尽力させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

副園長
（第一支援部門）
坂本 修平



昨年度に引き続き、副園長（支援第二部門）を務めさせていただきます。

新型コロナウイルスの感染が拡大し、1年以上が経過しました。この間、利用者の皆様との面会や外出が禁止となるなど、保護者・後見人の皆様をはじめ大変ご心配をお掛けしております。利用者の皆様へのワクチン接種については、市との調整など準備を進めております。一日でもはやく日常が戻ることを願っています。

利用者の皆様の生活が豊かになるよう、職員一丸となって取り組んでいく所存です。今年度もよろしくお願いいたします。

副園長（第二支援部門）
斉藤 啓

新規採用・転入職員紹介

この度、4月からあざみ寮へ配属されました小野あゆみと申します。初めて経験することや、知ることが多くその度に、先輩職員の方から学ばせていただいております。

また、利用者さんの個性や特性が理解できるようにコミュニケーションを積極的に取っていき、関係性を築き上げていけるように頑張ります。まだ、ご指導を仰ぐこともあると思いますが、温かく見守っていただければ幸いです。よろしくお願い致します。

あざみ寮 小野あゆみ

(前列左から)
木島茂幸(事業推進G)・大柿光男(第二GL)・遠藤秀樹(看護長)・松尾正純(園長)・坂本修平(副園長第一)・小野あゆみ(あざみ寮)・有賀悠(もえぎ寮)・田端綾子(あやめ寮)
(中列左から)
品川比呂武(つくし寮)・岩本悠希(あおい寮)・本吉遥(わかしお寮)・山田ひろみ(まつば寮)・野崎萌花(あじさい寮)・山田訓秀(朝霞)
(後列左から)
桑田仁(つくし寮)・栗原孝幸(みずき寮)



退職・異動職員

3月に定年退職となりました。定年を迎えるまで働いているとは、若かりし頃は考えてもいませんでしたが、利用者の方々の笑顔に支えていただき、職場の方々に助けていただき働くことができました。ありがとうございました。幸いにも身体が丈夫なので、もう少し再任用として働かせていただきます。今後ともよろしくお願い致します。

あじさい寮 大川直美

(左から)

- 山口美幸(活動支援G) 加藤淳子(まつば寮)
 - 小澤義一(活動支援G) 大野勢津(みずき寮)
- 大川直美(あじさい寮)



◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆

昨年度に引続き新型コロナウイルス感染症予防対策を行っておりますが、変異株の流行も懸念され、まだまだ不安な状況が続いています。

今年度は、3月下旬の桜が満開の時期にフォトスポット巡りを実施し、フォトスポットコンテストを行いました。お花見会では袖ヶ浦高校吹奏楽部の演奏等が録画されたDVDを視聴し、楽しめる様子が窺えました。現在はJOYプログラムも再開しておりますが、感染予防対策として、各寮ごとに日にちと時間帯を分けて安全面に配慮しながら実施しております。

先の見えない不安が続きますが、皆様の安心・安全を第一に職員一同、励んでまいります。

今年度も運営へのご協力をよろしくお願い致します。

支援第一部門 第二生活支援第二グループ
なのはな寮 山形 瑞希



利用者本位のサービス徹底に向けて 新しい支援への取り組み

【シルエット型見守りセンサーについて】

離れた場所からでも確認でき、【起き上がり・はみ出し・離床】を区別した音楽での通知があるため、怪我や事故の予防が出来ます。また、不要な訪室を減らすことで睡眠を妨げず、安眠の確保に繋がっています。



【スベラカーゼ粥について】

5月下旬より、スベラカーゼ粥の提供が始まりました。従来のミキサー粥のべたつき感を大きく改善できるゼリー状のお粥です。口腔内に入った際の離水を最小限に抑え、咽込み・誤嚥予防に繋がることが出来ます。

